

## 工事説明書

# 貯水機能付防災ヘッダー 貯めてるゾー

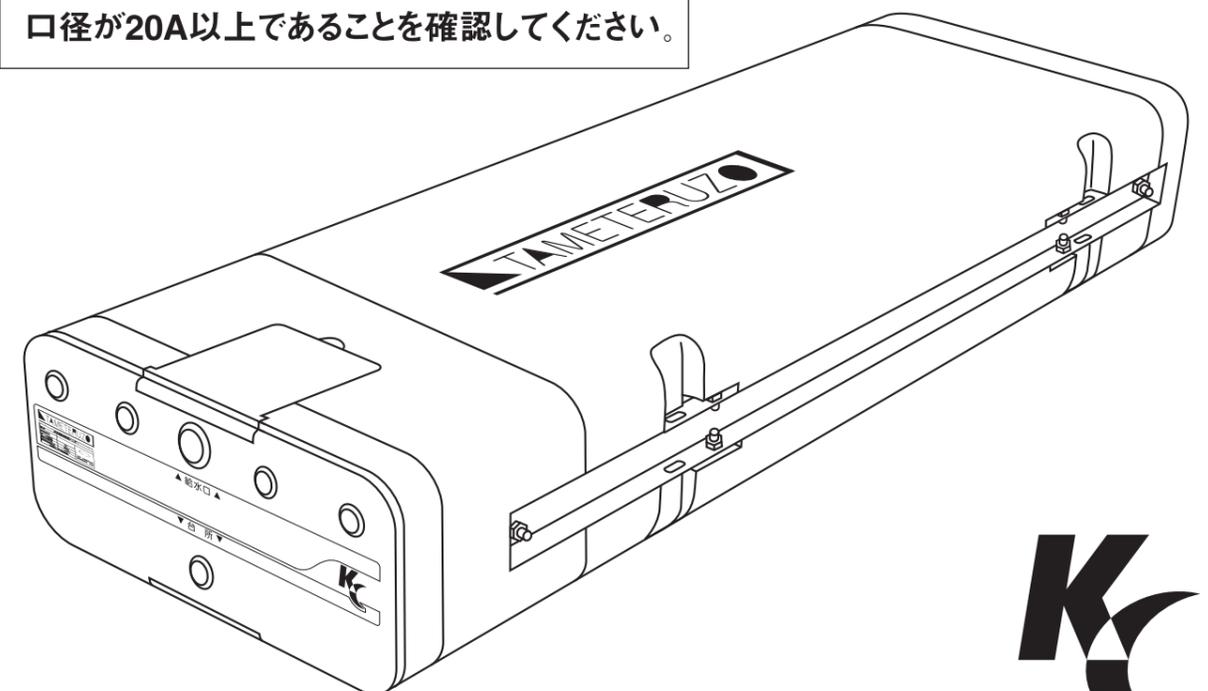
株式会社クボタケミックス

型式 EWS150-2-36-IH (PEX)  
EWS150-2-36-IH (PB)

### 工事をされる方へのお願い

この工事説明書は、工事作業者が正しく、安全な工事をするために必要な手引書です。  
工事開始前に必ずお読みください。本書の設置条件を外れた設置が原因で生じた  
故障などは、保証の対象になりませんので、ご注意ください。  
設置工事後、この工事説明書は取扱説明書と一緒に、お客様にお渡しください。

所轄の水道局（水道事業管理者）との契約  
口径が20A以上であることを確認してください。



株式会社クボタケミックス ホームページアドレス <http://www.kubota-chemix.co.jp>

本社 ☎661-8567 兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号 ☎(06)6470-5970 (ダイヤルイン)

東京本社 ☎104-8307 東京都中央区京橋2丁目1番3号 京橋トラストタワー ☎(03)3245-3085 (ダイヤルイン)

16.9. 5版

# 安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

**警告** この表示の欄は、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害の発生が想定される」内容です。

行ってはいけない「禁止」の内容です。

必ず実行していただく「強制」の内容です。

**警告**

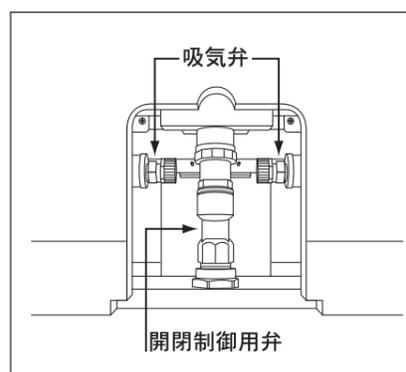
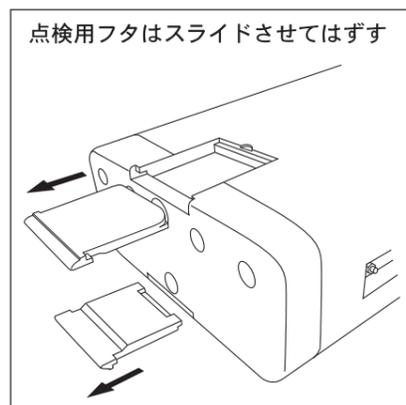
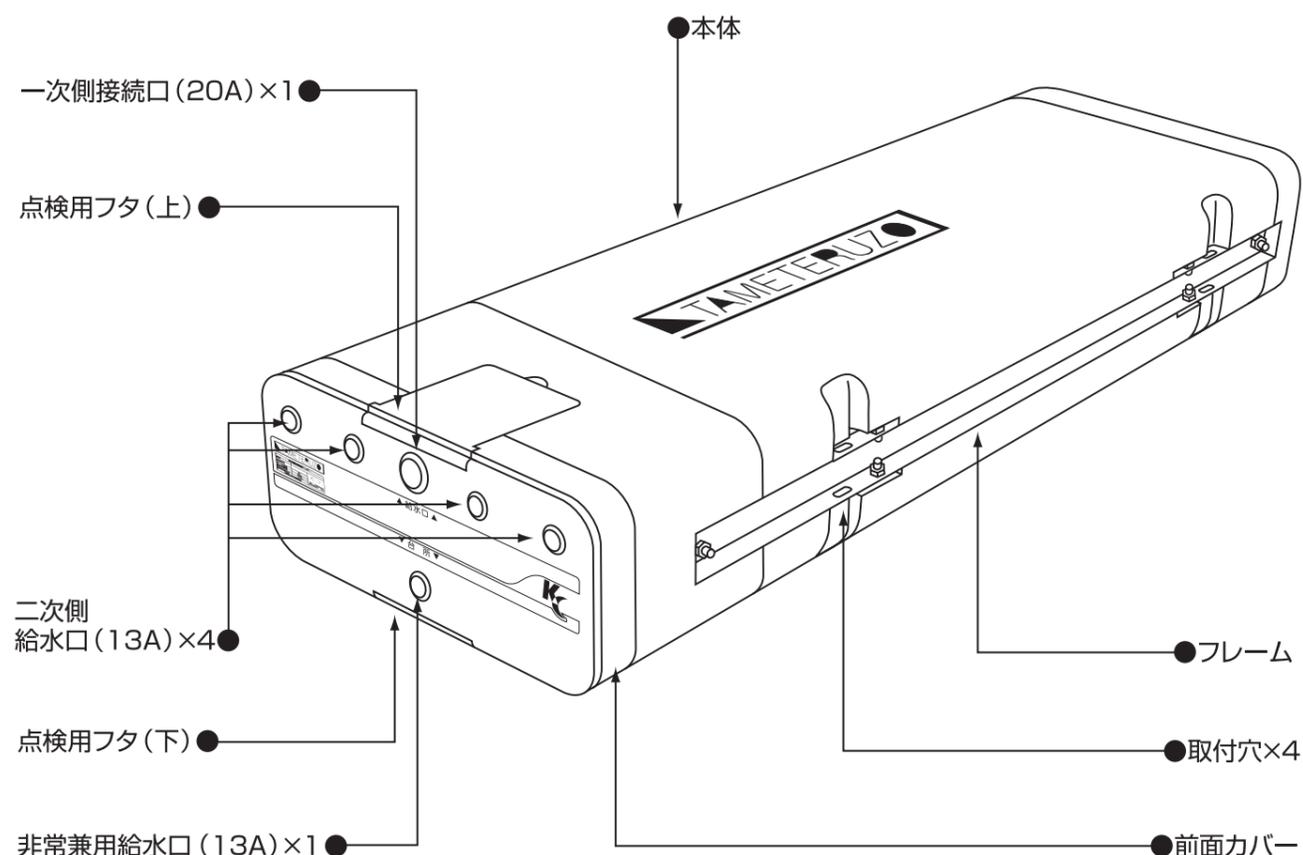
- 高所作業となる場合は、法令・法規に従った安全対策を講ずる。  
(転落・転倒によりけがや死亡のおそれがあります。)
- 柱・梁やスラブが腐食・き裂などで強度不足でないことを確認する。  
(本体の落下によりけがや死亡のおそれがあります。)
- 貯水用途以外の用途には使用しない。  
(思わぬ事故によりけがや死亡のおそれがあります。)
- 給水用途以外(給湯など)には使用しない。  
(思わぬ事故によりけがや死亡のおそれがあります。)

**注意**

- 工事完了後、本体に傾き・がたつきがないか確認する。  
(本体の落下により家財に損害を与えるおそれがあります。)
- 工事完了後、本体および給水管から漏水がないか確認する。  
(水漏れにより家財に損害を与えるおそれがあります。)
- 工事は工事説明書に従って確実に行う。  
(本体の落下や水漏れの原因になります。)
- 重量物のため搬入・据付時には注意する。  
(落下などでけがをするおそれがあります。)
- 重量物に耐える場所に設置する。  
(強度不足や、取付けが不完全な場合、落下により、けがをするおそれがあります。)
- 本体に衝撃を与えないようにする。(水漏れの原因になります。)
- 給水管を折り曲げたり、つぶしたりしない。(水漏れの原因になります。)
- 本体を解体しない。(本体の故障や結露、水漏れの原因となります。)

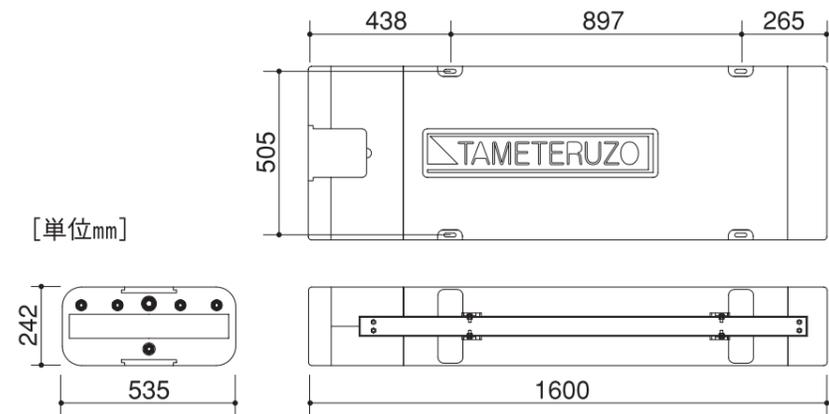
<b>目次</b>	安全に関するご注意	P1	準備作業(木造・RC造住宅共通)	P7
	各部の名称	P2	取付け方法(木造住宅)	P9~10
	商品の確認	P3	取付け方法(RC造住宅)	P11~12
	使用工具	P4	給水管の接続	P13
	標準仕上図	P5	検査	P14
	取付け前のご注意	P6	維持管理	P14
	取付け時のご注意	P6		

# 各部の名称



## 仕様

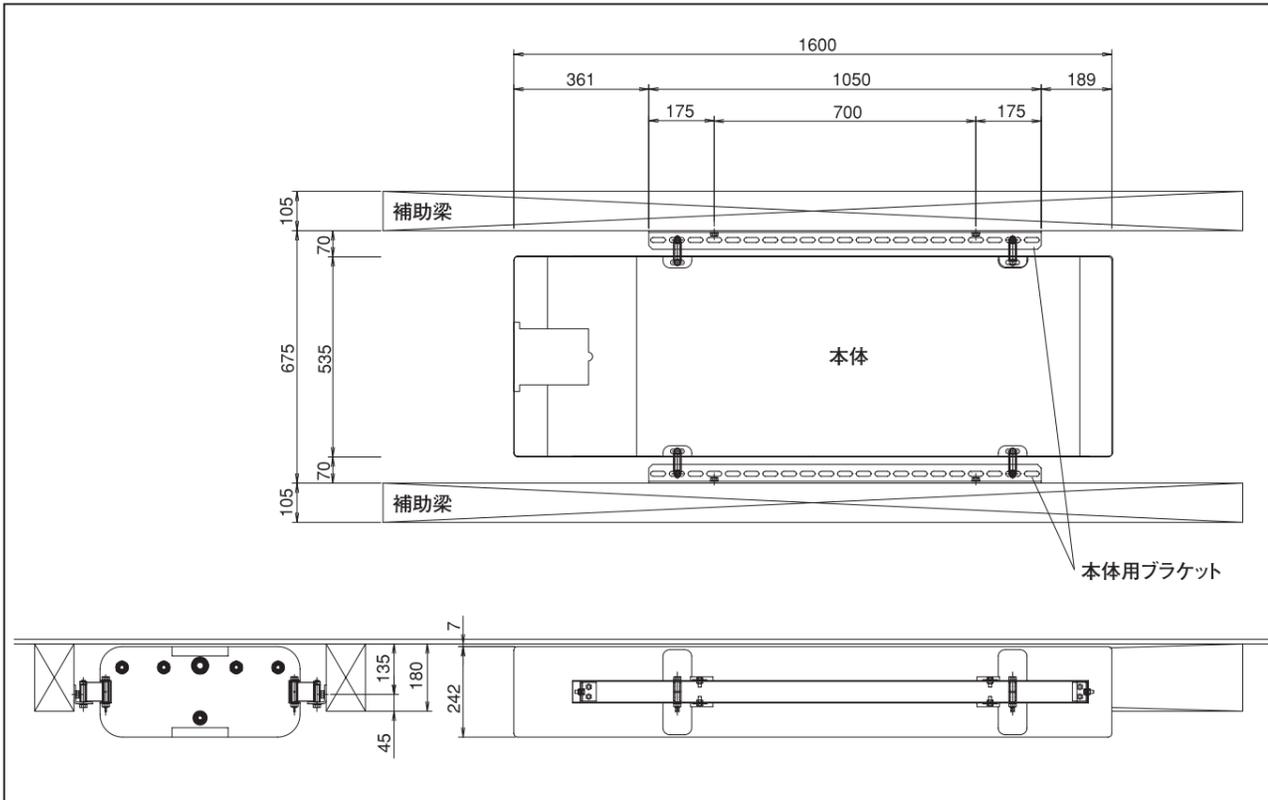
重量 : 40kg (貯水時約80kg)  
 貯水量 : 36ℓ  
 接続口径(口数) : 20A(1口) 13A(5口)  
 型式 : EWS150-2-36-IH(PBまたはPEX)  
 継手 : 金属製ワンタッチ継手  
 カバー : ポリスチレンフォーム(低VOC、難燃剤配合)  
 オプション : 専用取付金具



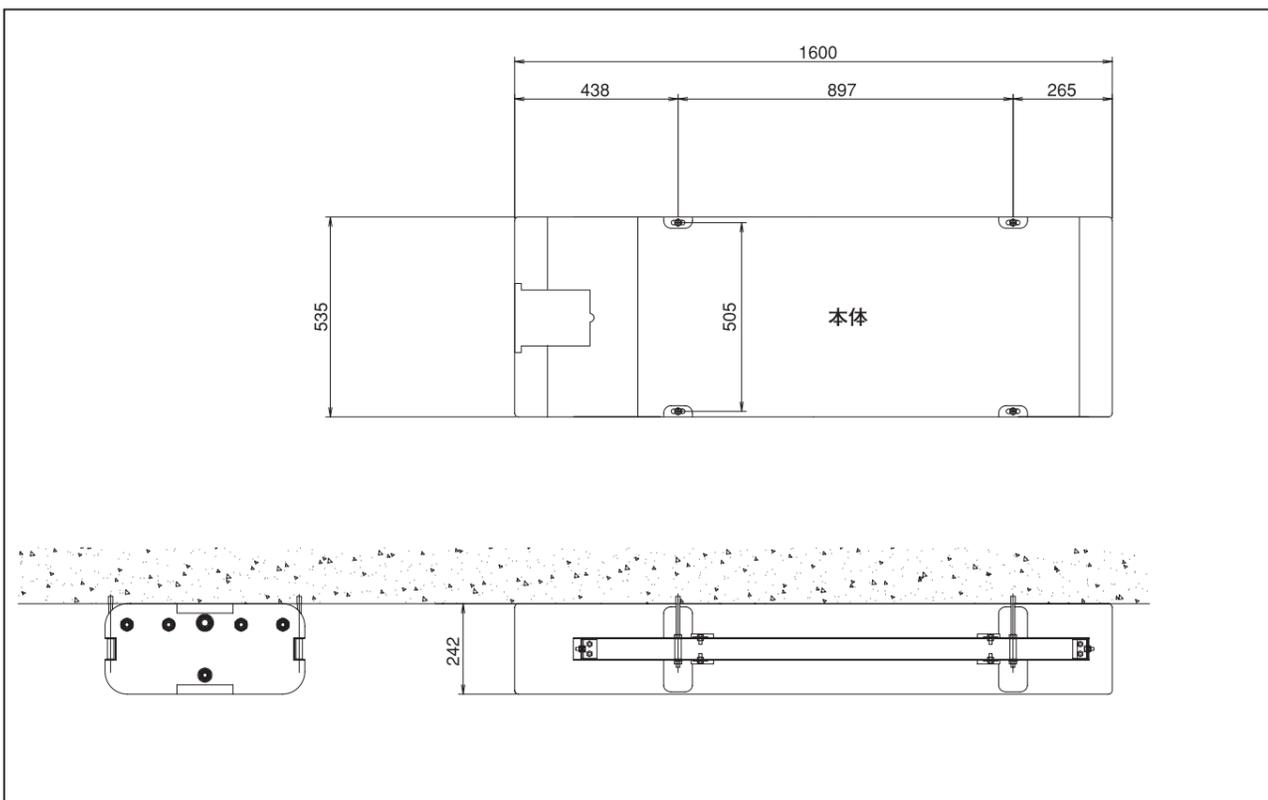


## 標準仕上図

### 木造住宅



### RC造住宅



## 取付け前のご注意

### 取付けの前に下記を確認してください。

- ①配管スペースがあること。ない場合は管継手(エルボ)を別途準備してください。(P13「配管スペースの確保」参照)
- ②RC造の場合、作業スペースがあること。
- ③木造住宅では、所定の位置に補助梁があること。また補助梁には十分な強度があること。(推奨寸法180×105)
- ④RC造住宅では、取付け部にき裂や凸部がないこと。
- ⑤点検用フタの位置に天井点検口を設置できること。
- ⑥本体の接続管種を確認すること。(PEXまたはPB)
- ⑦給水圧力は200kPa(2kgf/cm<sup>2</sup>)確保すること。

## 取付け時のご注意

### 取付け時に下記に注意してください。

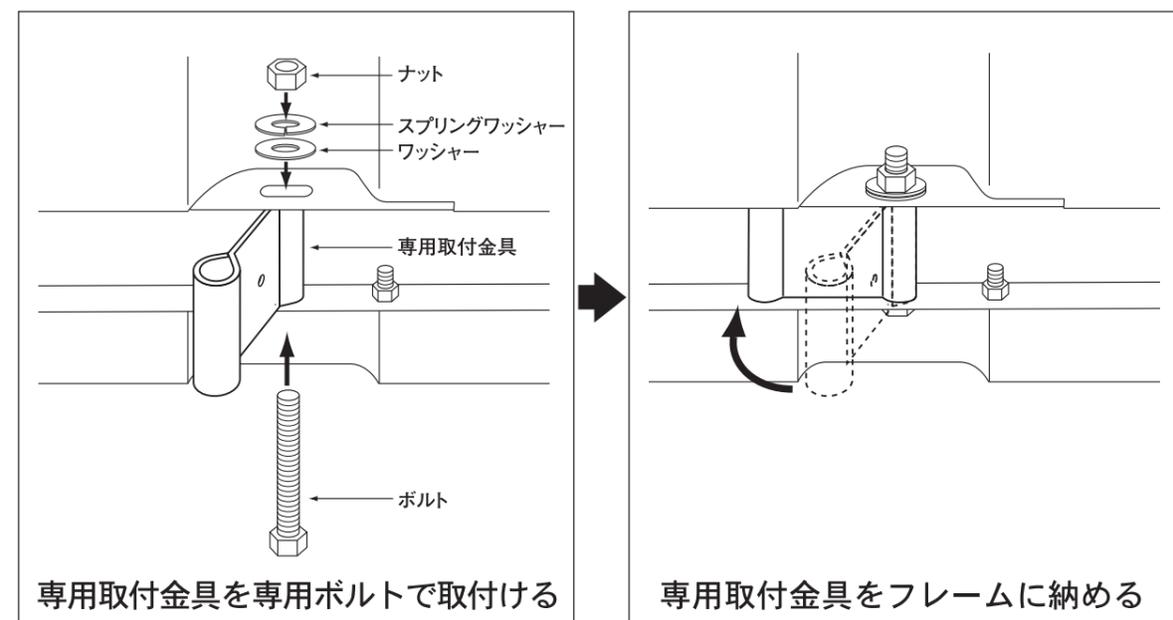
- ①本体は結露防止のため、ポリスチレンフォームで覆われています。梱包材ではありませんので、絶対に取外さないでください。
- ②本体に落下させる等の衝撃を与えた場合、そのまま設置しないでください。外観に異常が無くても、内部が損傷している可能性があります。
- ③本体を小運搬するときは、前面カバーを持たないでください。またフレームの角部で怪我をしないようご注意ください。
- ④前面カバーや点検用フタの取付けや取外しは、カバー等が損傷しないよう注意しておこなってください。
- ⑤本体は重量物です。取扱いには十分注意してください。また、本体前後の重量バランスが異なりますのでご注意ください。(前面カバー側が、やや重たいです。)
- ⑥本体は水平に設置してください。本体が傾いて設置された場合、十分に機能を発揮できません。



# 取付け方法 (木造住宅)

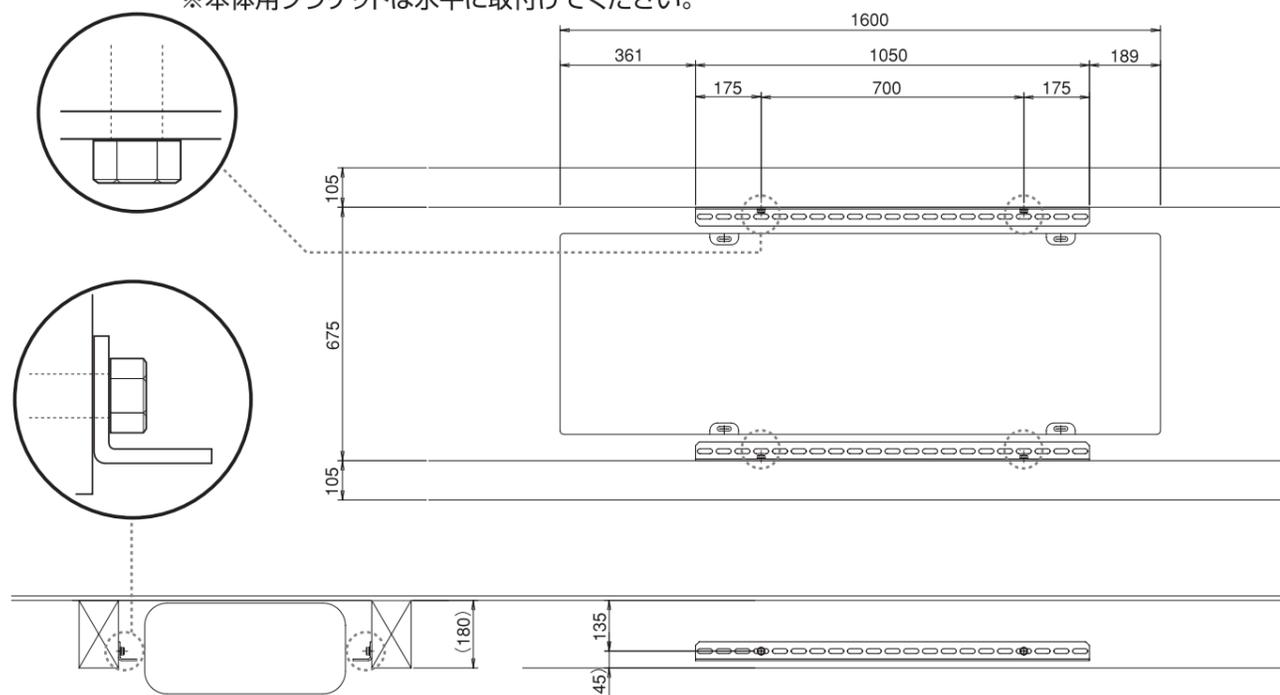
## 1 専用取付金具の装着

専用取付金具を本体フレームの取付穴 (4箇所) にボルト、ワッシャー、ナットで装着し、フレーム内に納める。



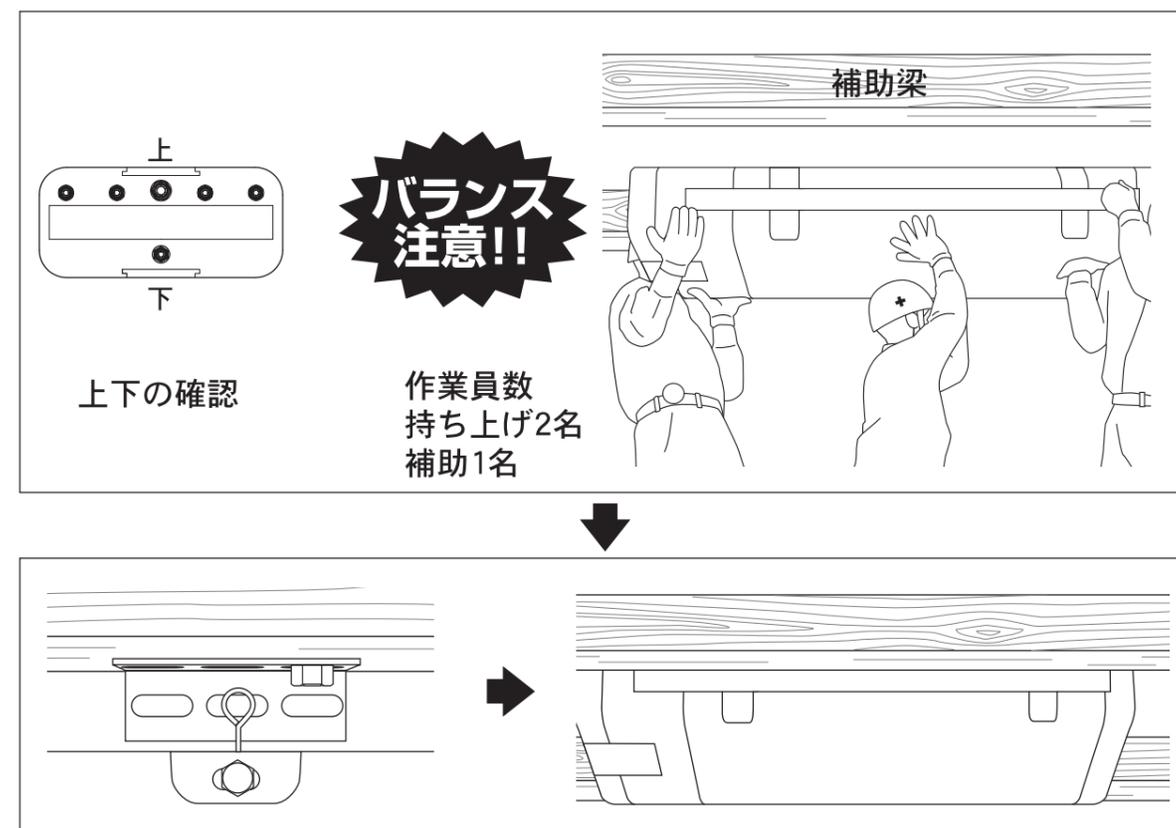
## 2 本体用ブラケットの取付け

- (1) ラグボルト取付用下穴 (φ9) を開ける。
- (2) 本体用ブラケット (2個) を補助梁にラグボルトで取付ける。  
※本体用ブラケットは水平に取付けてください。



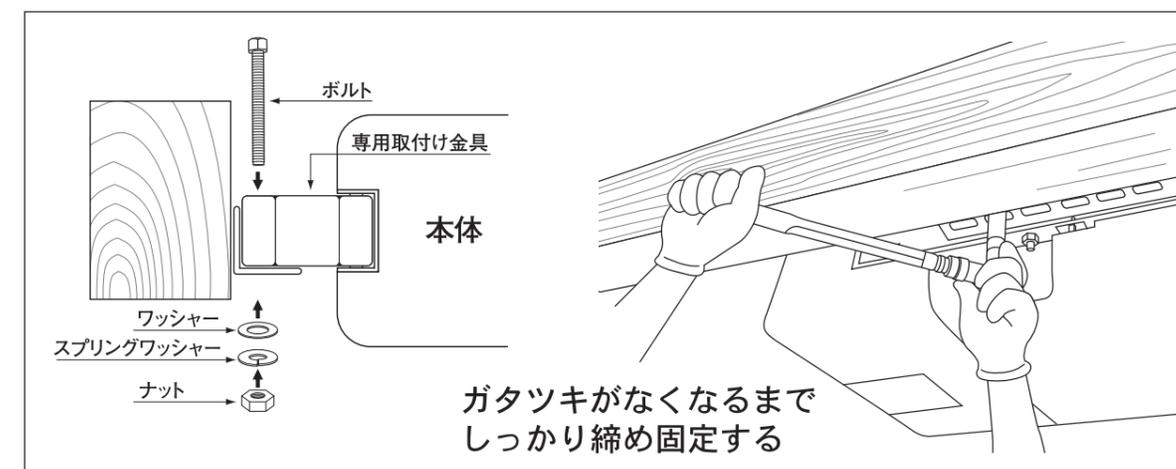
## 3 本体の取付け

- (1) 本体の上下を確認する。
- (2) 本体を持ち上げ、本体用ブラケット上面で専用取付金具を回転させ、ブラケットに載せる。



## 4 本体の固定

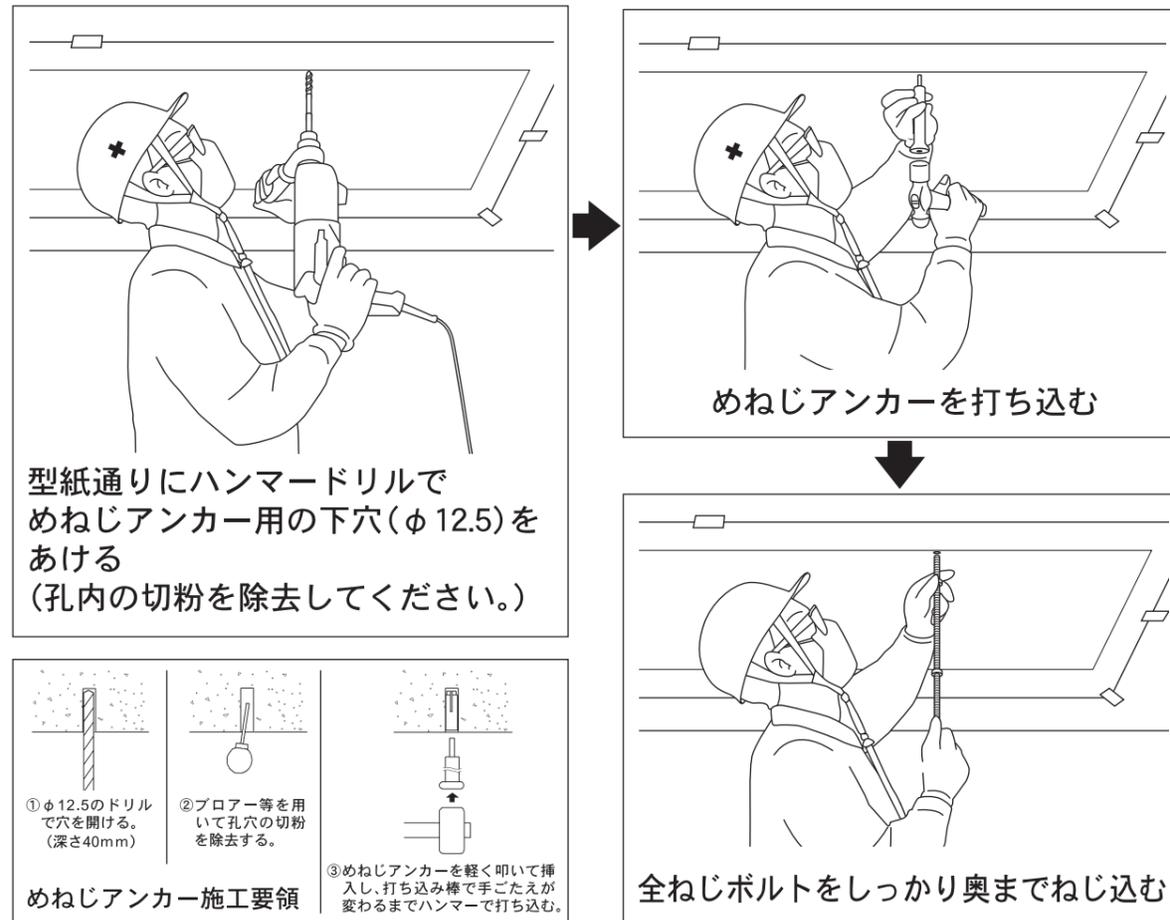
ボルトを専用取付金具に通し、ナット・ワッシャーで固定する。



# 取付け方法 (RC造住宅)

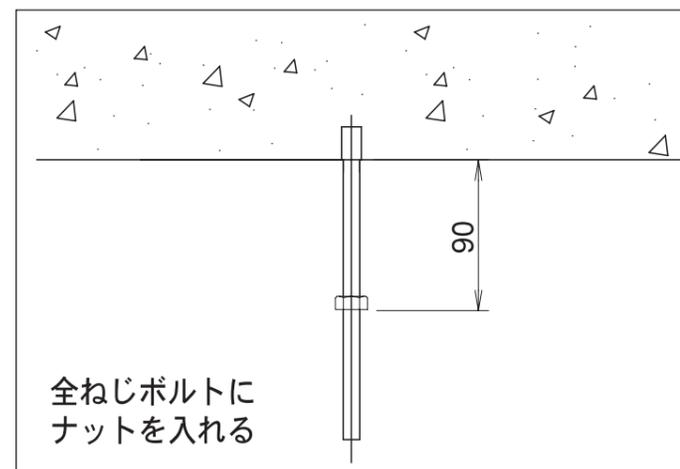
## 1 全ねじボルトの取付け

墨出し用の型紙を所定の取付位置に、粘着テープで貼り付け、めねじアンカー (4個) を埋め込み、全ねじボルトを取り付ける。  
 (注意: 型紙のしわや折り目はよく伸ばして使用すること。)



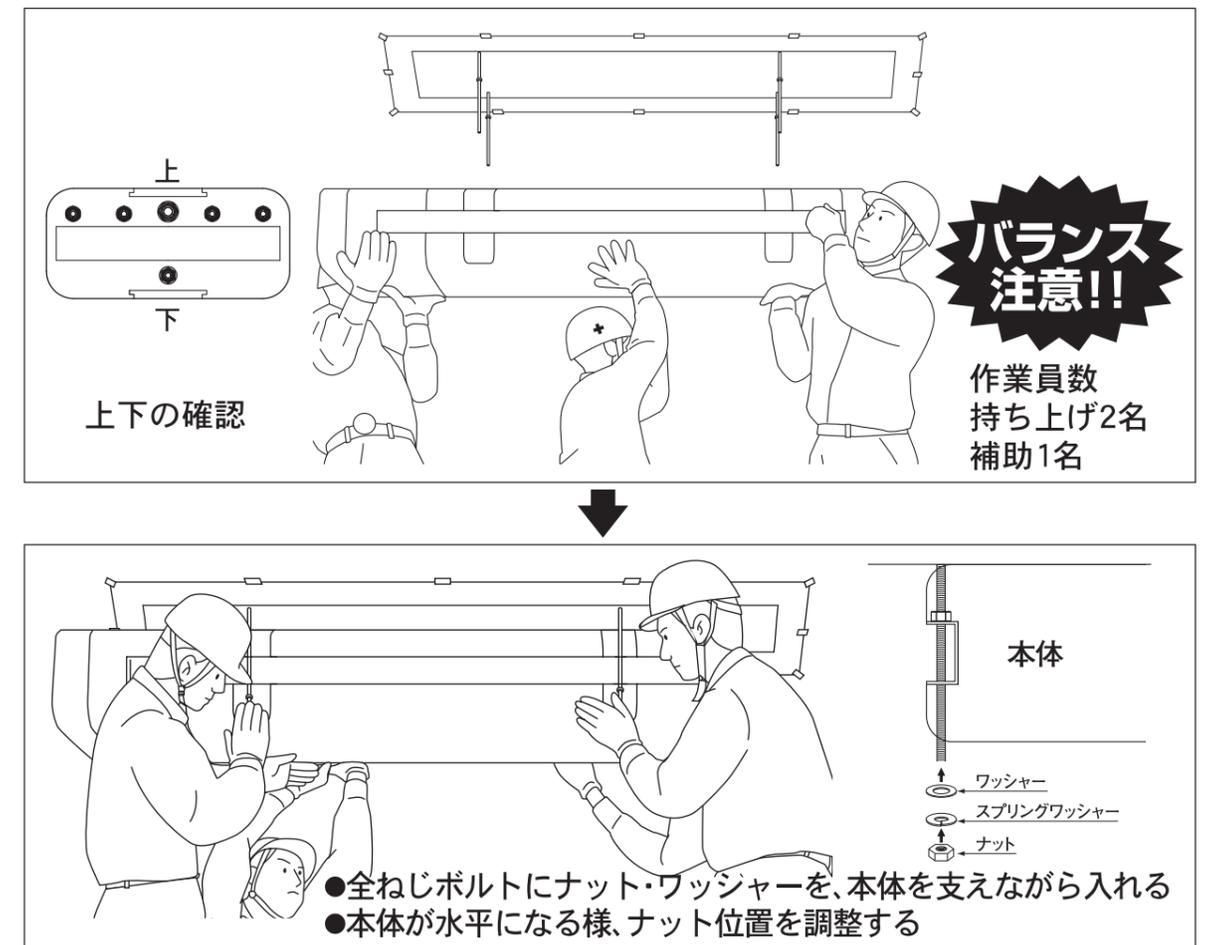
## 2 上側ナットの装着

全ねじボルト (4本) の所定の位置に上側ナットを装着する。



## 3 本体の取付け

(1) 本体の上下を確認する。  
 (2) 本体を持ち上げ、本体フレームの取付穴に全ねじボルトを通し、上側ナットに当る位置で下側ナットで固定する。



## 4 スペーサーの装着・ナットの増し締め

本体フレーム内の全ねじボルト露出部にスペーサーを装着したのち、ナットを増し締めし、本体にガタツキがないことを確認する。



## 給水管の接続

- 配管工事は、必ず所轄の水道局(水道事業管理者)の認定水道工事業者に依頼し、指定された配管材料・配管資材を使用してください。
- 接続管種はポリブテン(PB)管(JIS K6778、K6792のJ種)または架橋ポリエチレン(PEX)管(JIS K6769のPN15XM種)です。
- 非常兼用給水口は単独で水栓に接続してください。
- その他4つの二次側給水口は原則として単独で水栓と接続してください。ただし、水栓が足りない場合は給水管を連結して水栓に接続してください。(最大4つまで連結可)
- 備蓄水の滞留により衛生性が失われる可能性があるため、給水口のキャップ止めは禁止です。

### 1 接続方法

一次側接続口、二次側給水口および非常兼用給水口の管継手と給水管(PBまたはPEX)との接続は以下のとおり行う。

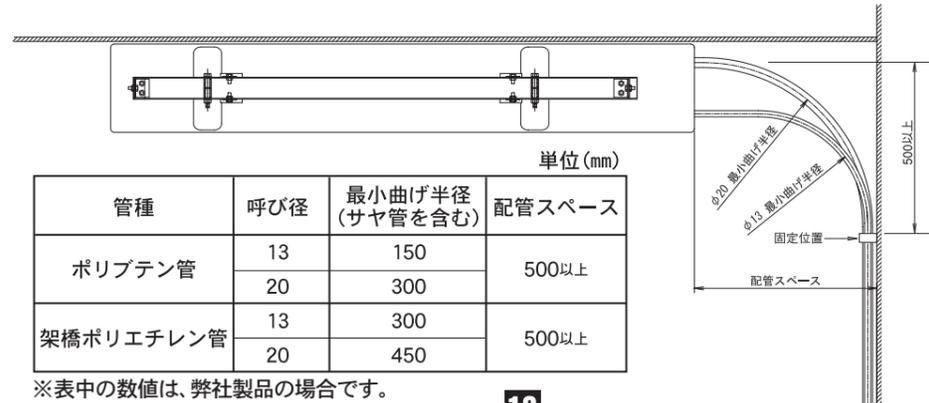
パイプ接続手順 パイプの接続は最後までしっかり押し込んで下さい。不完全な接続は漏水の原因になります。

1		パイプカッターを用いて管軸に直角になるように切断して下さい。(2mm以上の斜め切りやのご歯、カッターナイフでの切断は不可です)	○ × コ C コ C
2		継手に貼られたシールをはがしインコアを取り出します。	
3		はがしたシールをインコア挿入部の長さに合わせ、樹脂パイプに貼付けます。	
4		インコアをパイプに差し込みます。 (根元まで完全に押し込んで下さい。) 2mm以上の斜め切れはインコアのラインで判断できます。	○ × コ C コ C
5		パイプを継手に押し込みます。ソールの平面(赤線)が継手の端面まで入ると正しい施工です。	○ × コ C コ C
6		パイプを引張り、抜けないかを確認します。 パイプを少し回転させ継手となじませます。 挿入深さ確認の為、シールは貼り付けたままにして下さい。	

注1: 継手と管はオーリングでシールされますので保管、運搬時にキズ及び異物がつかないように注意して下さい。施工前に継手内部に異物がないか、樹脂管の表面にキズや汚れがないか確認して下さい。  
注2: 給水管は、一度挿入すると抜けません。  
注3: 継手は分解しないで下さい。

### 2 配管スペースの確保

給水管の固定は最小曲げ半径を確保できる位置で行う。  
最小曲げ半径や配管スペースが確保できない場合は、別途管継手(エルボ)を使用する。



## 検査

配管終了後、水圧試験を行い、本体および給水管から水漏れがないことを確認する。

### 【推奨水圧試験方法】

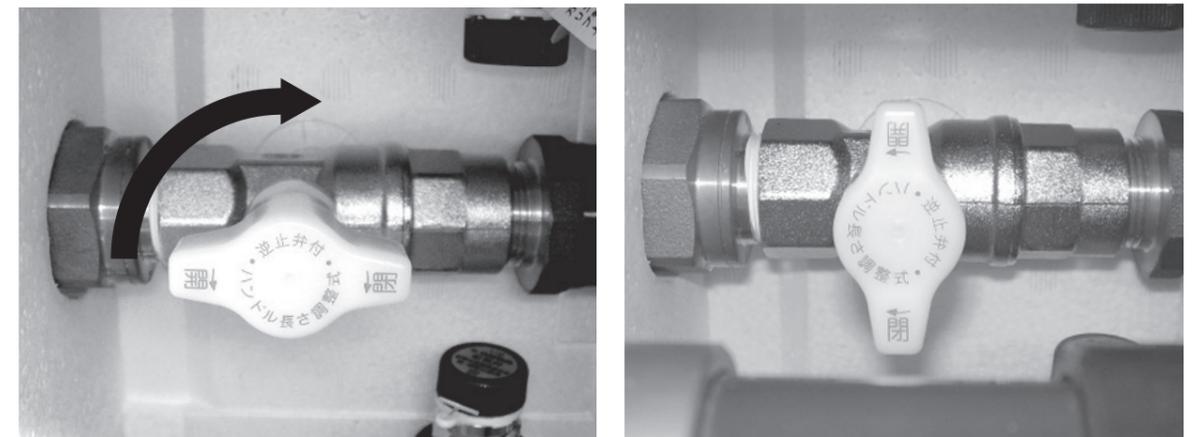
管種	圧力試験(準備)		圧力試験(本試験)		
	初期圧力※	時間	試験圧力	時間	判定
ポリブテン管	0.95~1.05MPa	10分間	0.75MPa	60分間	圧力0.65MPa以上
架橋ポリエチレン管	0.75MPa	5分間	0.75MPa	60分間	圧力0.5MPa以上

※ポリブテン管は、初期圧力まで昇圧して放置し、10分後に試験圧力まで降圧する。  
架橋ポリエチレン管は、昇圧を繰り返し、5分間初期圧力を保持する。

## 維持管理

### 1 本体への給水を停止する場合

本体点検用カバーをあけて、開閉制御用弁を「閉」にする。



### 2 吸気弁から漏水した場合の応急処置

本体点検用フタをあけて、吸気弁の止水リングを引き抜きキャップを回して漏水を止める。

